

新宮山彦ぐるーぶ第2309回

行仙宿の巡回整備

◇実施日 8月4日(日) 晴

◇参加者 沖崎吉信、湯川一郎、梶野照雄

3名

一8月4日に何かすることがありますか?、と湯川君から連絡があったので、行仙宿補給路の拡幅工事の続きをやることにした。午前9時に登山口に着くと、沖崎、湯川の2名は到着していた。モノレールにポリタンクの水や碎石2袋などを積んで終点に向かう。



外れたボルトをつける

岩を割る

終点で振動ドリルの外れたネジを付け直して発電機を動かし、先日残した岩を割り始めた。大変硬い岩で、時々火花が飛び散る。湯川君はタガネとハンマーで少し先の岩を割っている。沖崎さんと交代しながら一時

間半ほど作業を続けてようやく2ヶ所の岩を削って80cmの幅員を確保した。モノレール終点から15m程しか進んでいない。この先はしばらく岩がなく、山側の土を削るだけで済みそうだ。作業を終える少し前、小屋のほうから法螺の音が聞こえた。行者さんが来ているようなので沖崎さんがポリタンクの水を一つ持って小屋に先行了した。



不動寺の行者さん

石を取り付ける

水場は涸れていた

振動ドリルやハンマーなどをかたずけて小屋に向かう。法螺の尾とはやはり行者さんで、大阪東住吉区の不動寺(真言宗醍醐派)の5人だった。前鬼から入山し、今日は十津川温泉で宿泊するそうだ。

5人の行者さんを見送り昼食にする。食後、坂田さんが作った小石に児嶋さんが木の台を付けたものを玄関脇に取り付けてから、水場の確認に向かった。

水場は完全に涸れていて、水溜に半分ほどの水が残っていたが、強い腐臭がして、取水は不可能だった。一応底浚えしたが、流れがないので完全に

は堆積物を除去できなかつた。
小屋に戻って荷物をまとめて下山した。モノレール終点付近から小雨が降りだしたが、登山口まで降りると雨は止んでしまった。



本日の参加者



下山



登山口の水場は大丈夫

登山口の水場はまだよく流れていた。
R169の上北山村河合あたりからまた雨が降り出し、西原から新伯母峰トンネルまでは雷を伴う豪雨となったが、トンネルを過ぎると雨は止んでいた。翌日アメダスのデータを見ると上北山村では20mmの雨量を記録していたが、下北山村はゼロだった。
(記：梶野)

行動タイム

09:00 補給路登山口→09:25モノレール終点 11:28→11:40 行仙宿 13:
33→14:00 補給路登山口